

第100号

記念号



社会福祉法人 弥富福社会

特別養護老人ホーム 輪中の郷
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷
デイサービスセンター 輪中の郷
弥富市デイサービスセンター
弥富市南デイサービスセンター

〒498-0000
愛知県弥富市大藤町5番地3
TEL (0567) 65-5531
FAX (0567) 65-5536
E-mail info@yatomifukushikai.com
URL http://yatomifukushikai.com

新年のご挨拶



理事長
山田 耕二

明けましておめでとうございます。
社会福祉法人弥富福社会をご利用いただいています皆様方と、弥富市行政や医療関係者の方々、また民生委員様やボランティアでお世話をさせていただいています皆様方に、私共のスタッフ一同と揃って、新年の喜びを申し上げます。

今年も利用者様に、真心を込めて寄り添った対応をさせていただきます、精一杯の努力をしています。覚悟でございますので、ご支援やご協力の程よろしくお願い申し上げます。

このおたっしや通信は、皆様のお蔭をもちまして、今回記念すべき節目の100号を迎えました。親しみやすくより一層身の濃いものにしなればと考えておりますので、読後感想などお聞かせ願えれば幸甚でございます。

さて、昨年は新元号「令和」が誕生して、新しい時代を迎えた、マスコミ各社は一斉に大きく報道して、安定した恒久平和を願う内容の記事を盛り沢山掲載していました。

利用者様の多くは、大正時代から昭和初期生まれで、第二次世界大戦中の激動期から敗戦後の復興期に、幾多の苦勞を乗り越えられてきて、安定した昭和の後期から平成時代はあつという間に過ぎ去って、今日を迎えられていきます。これからも、どうかゆつたりとお過ごしくださいと願っております。

一方、国内の自然災害につきましては、昨年は関東から東北地方にかけて、台風15号に続き19号が直撃して、河川の氾濫など甚大な被害が出ました。殊に特別養護老人ホームや、その他の介護施設が壊滅的な被害にあわれた映像に接する度、心が痛みました。60年前、あの伊勢湾台風が風速70メートルにも達する暴風雨でこの地方を襲い、5千人以上の犠牲者を出しました。海部南部の海岸堤防は大部分が決壊して、殆どの住宅は海面下であったので、約3ヶ月も水没してしまいました。筆舌には表せられない苦勞を強いられてきただけに、他人事でなく悲痛な思いで、映像や新聞記事を見ても、胸が引き裂かれる思いがいたしました。心からお見舞い申し上げます。心からお見舞い申し上げます。心からお見舞い申し上げます。

また、輪中の郷や弥富市及び弥富市南デイサービスセンターの利用者の皆様には、時ならぬ感染症や思いもよらぬ病気が発

生してはいけないと、「感染症対策委員会」を設けて、嘱託医のご指導を仰ぎながら、各所に注意を払って厳寒期を迎えています。利用者様は高齢なだけに、抵抗力も若い頃とは違いますし、また同一建物の中で集団生活をしていまして、おのずから感染や蔓延も早く、治癒力は低下していますので、全職員は神経を張り巡らせて、連絡を密にして対応させていただきます。

生命に係わる重要な事柄ですので、もう少し詳しく申し上げます。昨年4月から5月の桜が咲いた後、少し暖かさを感じ始めた頃に、想定外のインフルエンザ流行の兆しが見えてきて、緊急対応させていただきました。お一人でも発症者を出しては高齢者の皆様は、抵抗力も免疫力も少ないので、施設内に蔓延の恐れが出てまいります。感染症対策委員会を何回も開いて、換気・消毒・加湿・手洗い・予防接種・水分補給・マスク着用・うがい等の他、最新の医療技術を施しまして、万全の対策を取ってまいりました。外来者から来たお一人が持ち込まれても、重篤患者蔓延の可能性が心配されまので、持ち込まれては大変と、最大限の神経を失わせていきました。過去にはスペイン風邪やソ連風邪、日本ではインフルエンザで大勢の方が亡くなっていますので、「たかが風邪」かと安易な対応では、風邪の菌とインフルエンザ菌は大違いですから、大惨事

になりかねません。

昨年10月頃夏が過ぎ秋を迎えたころ、またもや風邪やインフルエンザの流行の兆しが見えてきました。例年なら1〜2月の厳寒期(乾燥期)に流行の兆しを見せるのですが、地球温暖化のせい、気候変動の激しさからか、昨年は少し変わった時期に兆しが見えましましたので、臨時の緊急感染症対策委員会を設けたりして、全職員が厳戒態勢で対応させていただきました。

昨今は、いつ何時どのような感染症が襲ってくるか、予想外の事態が予告なく発生いたします。他施設の情報や利用者様の容態に神経を張り巡らせていただいておりますが、ここ数年国内の30〜40代の方に麻疹(はしか)の流行がありました。日本では下火となってきたる病気も、海外旅行から帰られた方から、隠れた蔓延状況が報道されましたし、結核・百日咳・エボラ出血熱・プール熱(咽頭結膜熱・アデノウイルス感染症)・流行目その他沢山ありますし、背赤蜘蛛・蚊・ヒアリ等々・外来スズメバチなどに注意を払わねばなりません。航空機の発達で東南アジアからは5〜6時間、アメリカ大陸やヨーロッパ大陸からでも12時間程度、地球の裏側からでも24時間程度で日本にやってこられます。感染して発病前に、すなわち潜伏期間中に日本国内に入ってしまったと、追跡が難しく拡散しますので、その後の対応

が非常に困難になってまいります。グローバル化が進めば進むほど、空港や港で検疫官の水際作戦が大切になってきています。

人間には感染しないと言われる豚コレラ(CSF)は、愛知県を中心に東海地方で2万数千頭の殺処分がなされました、その後関東地方にも広がりワクチン投与が施されて、なんとなく終息しようですが、大丈夫なのかと心配は残ります。

さらに、当施設では肺炎や誤嚥性肺炎並びに食道炎や逆流性食道炎など、介護・看護職員たちは気を抜くことなく利用者様に、寄り添って見守っています。その他、スギやヒノキの花粉症や、卵・蕎麦等の食べ物アレルギー疾患など、これからも季節に関係なく注意を払って対応させていただく所存でございますので、利用者様の為にもご理解やご協力の程よろしくお願いいたします。

話は昨年9月に始まった、第9回ラグビーワールドカップに触れさせていただきます。それは利用者様の多くがテレビ中継を、楽しく見ておられたことや、住人さんや来訪者の方から「ラグビー日本代表、凄いですね」とか「ラグビー、見直しました」と声を掛けられましたので、以前のおたっしや通信と重なりますが、私は昭和38年(1963年)大学2年生になったばかり、20歳の最年少で日本代表の23名の中に選ばれて、戦後初の海外遠征(カナダ・アメ

リカ)初戦で初トライを挙げるこゝとが出来ました。その後高校教員になってからは、高校生の最も憧れる花園の全国大会に、監督として19回出場しましたが、そのうち1回だけは全国優勝することが出来ました。

市立高校定年退職後は(株)豊田自動織機のラグビー部で、10年間ディレクターや総監督をして、東海リーグから関西リーグ、そしてジャパントップリーグに上がるのを見てきました。その間には現日本代表キャプテンのリーチ・マイケル選手や、背番号10番司令塔の田村選手には、何度もマイチーム「シャトルズ」に勧誘をしてきた間柄です。

第9回ラグビーワールドカップが日本で開催されることになり、世界の予選を勝ち抜いた20ヶ国が日本にやって来て、12会場48ゲームが国内各地で開催されました。愛知県では豊田スタジアムで、4月11日ニュージーランド対イタリアの一試合は台風の影響で中止になってしまいました。私は豊田と熊本でのチケットがネットでも当選してしまいましたので、会場やその都市の盛り上がり臨場感の他、焼酎・馬刺し・温泉を楽しむことが出来ました。少し残念なことは、若い頃対戦したカナダやフランスの選手や、生徒が国際試合をしてきたニュージーランドやオーストラリア、そしてイングランドの監督達と、日本観戦で再会して旧交

を温め、ビールを飲み交わすことに喜びを感じてきましたが、彼等も寄る年波には勝てず、開催直前に亡くなったり、加齢や病気で来られなかったことです。

日本代表は予選リーグを突破して、長年の目標「悲願のベスト8」の成績を残しました。日本代表の開幕ロシア戦から一戦一戦勝ち抜いていく姿に、老若男女や、にわかファンが熱狂的に応援してくれていました。また世界中からの観戦者の多さに圧倒されながら、東京スタジアムや横浜国際総合競技場には7万人近い観客の中で、世界最高峰の試合が展開されて、テレビの瞬間最高視聴率は40パーセントを超えたこと等々、ラグビーファンにはたまらない場面の連続でした。そして迎えた決勝トーナメントでは、第1回戦10月20日、日本3対26南アフリカ戦では、まことに残念ながら優勝した南アフリカに、善戦及ばず敗退いたしました。ラグビーの発祥地や本場のアイルランドやスコットランドに勝って、「よくぞここまで来た」と称賛の声はその後も続いています。そして開催国日本人のマナーやおもてなしは、世界中から素晴らしかったとワールドカップが終了しても暫く続きました。美談の延長ですが、各国代表はキャンプ地の方々のさまざま文化交流風景や、カナダ代表選手達が台風被災地に向いて、後片付けのボランティアをしたこともテレビで報道されました。これ

らの興奮冷めやらぬ中、最早近い時期に再度日本開催の声が高まってきていることは、無上の喜びでもあります。その上、かつて若い頃50年以上前の南山大学の語学が堪能な教え子たちが、2023年のフランス大会観戦の準備を始めてくれて「先生、4年後まで元気でいて下さいよ」と声を掛けてくれています。希望に向けて体力低下を予防し、認知症にならないような健康第一の生活をしなければと心に誓っています。

そしてまた今年も、東京オリピックでラグビー7人制が行われます。パラリンピックでは車椅子ラグビーも含めて、楽しみは増えてまいります。世界の強豪選手の激突する凄さと、ワクワクする試合が目の前にやって来ますので、元気で皆様と共に楽しみに待ちたいものです。

ラグビーのみならず、いろいろなスポーツに親しんでいたいただきますと、健康の保持増進に繋がります。100歳時代を迎えて平均余命が益々伸びて人生を謳歌され、延いては医療費の削減につながっていくれば、まさに一石二鳥ではないでしょうか。

最後になりましたが、海南病院や歯科医師会等の医療関係の方々、民生委員の方々や、JA関係の方々、中山川原欠地区の方々、そしてその他のボランティア活動をしていたいただきます皆様方に、理事を代表しま

して日頃の感謝を申し上げます。

利用者様やそのご家族様の方々から「家では出来ない事を、やっていたいただきました。本当にありがとうございます」や、最近では「温かいやわらかいものを食べさせてください」と、喜んで頂いています」と感謝と労いの言葉を頂いております。なかには何年前か前に父母がお世話になったと、お礼にみえる方が後を絶ちません。

これらのお言葉や、お礼の態度に甘んじることなく、今後も職員は各種研修会に出席して更なる研鑽を積み、誠心誠意努めさせていただき、満足度の高い最高の介護施設を目指してまいり見やご要望も合わせてお願い申し上げます。

今年新元号二年目の年、子年が皆様にとつて健康で明るい良い年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新春を迎えて



弥富市長
安藤 正明

あけましておめでとうございませう。希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

平素は市政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨今は少子高齢化や単身世帯の増加など、福祉を取り巻く社会環境が大きく変化するとともに、そのニーズも複雑かつ多様になってまいります。

そのような中、貴法人におかれましては、地域に根ざした施設として事業を展開しておられ、本市の高齢者福祉向上に大きくご貢献していただいております。敬意と感謝を申し上げます。

本市におきましては、一昨年より進めてまいりました新庁舎の建設でございますが、今年の2月に完成し業務開始を5月に予定しております。

また、本年は「弥富市第7期介護保険事業計画・高齢者福祉計画」の総括を行う年であります。医療・介護等の連携、認知症施策の推進、介護予防・日常生活支援総合事業の推進等、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを推進してまいります。

要支援者等に対して効果的かつ効率的に支援を行うよう、ささ

あいセンター機能の充実を図るとともに、認知症予防教室やふれあいサロンの実施及びサポーター養成講座を各地区で開催し、できる限り住み慣れた所で自立した生活を送ることが出来る地域づくりを目指します。

更に、高齢化が進展する社会では、ライフスタイルの変化などにより、ニーズも多様化してまいります。そのニーズに対応していくため、保健・医療・福祉が連携し、質の高い総合的なサービスの提供体制を整備し、「生涯健康、活き活き、住み慣れた地域で安心できるまち やとみ」の実現に向けて邁進してまいります。

また、障がい者支援につきましましては、「障害者差別解消法」が施行され、3年目を迎える「第5期福祉計画」に基づき、障がいのある方が差別なく共生できるまちづくりに向け努力していきます。

その一つとして、障がいのある方が地域の中で自立した生活ができるよう、海部南部障害者自立支援協議会と協力して、障がい者グループホームの建設に向け、事業者を積極的に支援してまいります。

今後とも市民一人ひとりの幸せ向上を目指してまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。終わりに、貴会の益々のご発展と関係各位のご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

入所者紹介

輪中の郷の新しい家族になられた方々を紹介します。



大城ヒサエさん

9月30日、いちよう・しらかばほーむの住人になりました。

入所された時は少し緊張されていましたが、笑顔がとても素敵な方です。

こちらから話しかけると笑顔で元気よく話して下さい、こちらでも笑顔になりますし、元氣をもらっています。

「あんたきれいだね」など職員のことをよく褒めて下さいます。とてもまっすぐに伝えられるので、少し照れますがすぐくうれいです。

まだ生活に慣れないことがたくさんあると思いますが、担当として精一杯サポートさせて頂きます。

これからも末永くよろしくお願ひします。(中江奈穂美)



伊藤弘子さん

10月2日、けやき・くすのきほーむの住人になりました。

日頃から声かけを行うと笑顔でいろいろなお話をして下さい、職員一同とても嬉しく思います。

また、同じテーブルの方ともすぐに打ち解け、仲良くお話をされています。

これからはますます寒くなってくるので、身体に気をつけてお過ごしただけければと思います。これからもよろしくお願ひ致します。(岩間冴香)



林 隆則さん

10月18日、いちよう・しらかばほーむの住人になりました。

当初から職員や同じテーブルの方と笑顔でお話をされ、お食事もしっかり食べられ、行事やレクリエーションにも積極的に参加されています。

また、入所後誕生日を迎えられ、職員からの「おめでとうございませう」の言葉に照れた様子で笑顔もみられました。

これからさらに寒くなりますが、体調に気をつけて元氣にお過ごしください。

末永くよろしくお願ひ致します。(小木曾翔一)



三原シゲ子さん

10月21日、いちよう・しらかばほーむの住人

になりました。

当初は周りに知らない人が多く不安そうな表情もみられていましたが、最近では職員を見ると、「お兄さんありがとね」と、ご自分から話しかけてくださいます。

また、他の住人さんともお話をされている姿をよく見かけます。少しづつではありますが、ほーむでの生活にも馴染んでいられている様子が伺えます。

これから寒さが厳しくなる季節ですが、健康に気をつけて元氣にお過ごしください。これからも末永くよろしくお願ひ致します。(奥村和久)



加藤榮一さん

11月3日、けやき・くすのきほーむの住人になりました。

当初より他の住人さんや職員へ大きな声で挨拶をしてくださいます。現在は起床後に席へ着くと、毎朝同じテーブルの方々と朝礼を行うことが日課となっております。朝から大きな声が聞こえてきます。

また、新聞を読むことがお好きで、重要な記事に線を引かれています。他の住人さんと会話を楽しんで、穏やかに過ごされてみえ、ほーむの生活にも大分慣れてきた様子です。

今後はさらにレクリエーション

や行事に参加し、楽しく生活していただきたいと思いますので、末永くよろしくお願ひ致します。(宮田大輝)



前田 榮さん

11月21日、いちよう・しらかばほーむの住人になりました。

ご自分から声を発することは少ない方ですが、職員の声かけにはうなずきながら優しい笑顔を見せてくださいます。

これからもたくさんお話をし、いろいろな表情を見せて頂きたいと思ひます。

また、レクリエーションにも参加し、たくさんの思ひ出を作つていきましよう。

まだまだ寒い日が続きますが、体調を崩さず元氣にお過ごしください。

これからもよろしくお願ひ致します。(田畑徹)

新入職員紹介



田村 正江

昭和42年9月13日生
B型

11月から、輪中の郷生活支援課で勤務させて頂いております。

以前は、食品製造工場で勤務しており、介護施設で働くことは初めてです。

今まで経験のない作業が多く、不安や心配が多い中、先輩方に丁寧に教えて頂いております。

まだまだわからない事ばかりですが、一日でも早く一人前の職員として働けるよう努力してまいります。

そして、自分の目標でもある、その先の「ありがとう」のために一生懸命勤め、利用者の皆様笑顔で健やかに過ごせるお手伝いのできればと考えております。

ご指導の程、よろしくお願い致します。(輪中の郷調理士)

中山秋祭り



今年も10月6日(日)に山車が輪中の郷へまわってきたださいました。少し汗ばむほどの秋晴れの下、大勢のご利用者も山車を見に集まりました。

鐘や太鼓の音が澄んだ空に鳴り響き、見物している皆様も喜ばれ、笑顔もこぼれま



また皆様の笑顔が見られる中山秋祭りを楽しみにしたいと思います。(伊藤佳樹)

お寿司パーティー



11月11日の介護の日、住人の皆様の念願であった「お寿司パーティー」が催されました。

待ちに待っていた様子が伺え、何気に笑みがこぼれる方やキョロキョロと何が始まるのかと見回している方など、そんな一人ひとりの表情が見られ、職員も嬉しくなります。

テーブルの中央にお寿司が運ばれると、キョロキョロ見回していた目が真っ先にお寿司の方

へ・・・。職員の方の挨拶をと思つたら、一人の男性の手がお寿司へ伸びていく！待ちきれなかつたのがよくわかります。

まぐろ・玉子・サーモン・鯛・穴子と様々なお寿司を目の前に、全員が食欲旺盛な様子。

普段小食な方やおしゃべりが止まらない方も、この日ばかりは黙々と食べられ、「美味しいねえ」「また食べたいねえ」と言葉が飛び交っていました。

皆様の美味しそうに食べられている顔を見て、職員も幸せを感じると同時に、美味しいものは、心も穏やかにしますね。(江川妙子)



台所の薬草 「酒粕」



「酒粕」とは、蒸したお米を米麹で仕込み、発酵したものを絞ったものです。いわゆる日本酒の搾りカスのことですが、近年の発酵食品ブームで見直されている食材の一つです。栄養素を多く含み、タンパク質・炭水化物・食物繊維・ミネラルの他に、麹菌・葉酸・麹菌由来のβ-グルカンなども含まれます。

最近注目されているのが、タンパク質でありながら食物繊維の生理機能を示す食品成分であるレジスタントプロテインです。コレステロール低下や肥満抑制作用があり、生活習慣病の予防に期待されています。栄養面だけでなく、美肌などの美容効果も注目されている酒粕は、料理にコクと旨味をプラスしてくれる優れたものです。今号のSMILEレシピは酒粕を使ったメニューになっています。ホームでも提供していますので一度お試しください。

(星野芳江)

SMILEレシピ

鶏モモ肉の白みそ酒粕煮

酒粕は身体を温め、免疫力を向上させる効果があり、どんな食材にも合います。また、風邪予防にも効果があります。これからますます寒くなる季節に良い料理だと思います。



調理師
岡田正人



材料2人分

鶏モモ	150g
じゃがいも	80g
にんじん	40g
グリーンピース	5g
ささげ	10g

A

だし汁	800cc	白味噌	60g
酒粕	60g	砂糖	40g
みりん	大さじ5杯		
酒	大さじ5杯		

作り方

- ① 鶏モモ肉を一口サイズにカットして、フライパンでキツネ色になるまで炒めます。じゃがいも・にんじんは、食べやすいサイズにカットして下ゆでします。同様にささげ・グリーンピースも下ゆでします。
- ② だし汁にAの調味料を入れ味噌が溶けるまで混ぜます。
- ③ ②に炒めた鶏モモ肉をいれ、やわらかくなるまで煮ます。肉がやわらかくなったらじゃがいも・にんじん・グリーンピース・ささげを入れ、野菜に味がつくまで煮て、味がしみたら完成です。

デイサービスセンター 輪中の郷

『鍋パーティー』



12月1日(日)・11日(水)の両日に、毎年恒例の鍋パーティーを開催しました。

ご利用者の皆様にとって、とても楽しみにしている行事の一つでもあります。

お鍋ということもあり、職員一同もフル回転して時間とお鍋を囲むことができました。また、普段あまり食べられない方も、この時ばかりはおかわりし、モリモリ食べてみました。朝から楽しみにしていた鍋料理を口にして表情はとても満足されて、職員一同嬉しく思いました。

厨房の職員も、皆様がたくさん食べられるよう工夫していただき、ありがとうございました。

当センターでは、鍋パーティー以外にも、秋は盛り沢山の行事がありました。



(安田洋子)

弥富市 デイサービスセンター

『串揚げパーティー』

当センターは、食事がとても美味しいと利用者様に評判です。

ある時はバイキング形式で昼食を、またある時は午後のティータイムにお菓子バイキングをしたり、趣向をこらし楽しんで頂いています。

11月12日(火)に、「串揚げパーティー」が開かれました。

サツマイモ・れんこん・ヒレカツなど、他にも色々な種類の串揚げが各テーブルの木桶に入れられ配られると、「ワァー」と歓声が上がりテンションも上がります。いつもと違うシチュエーションに食欲も湧き、串揚げ10本食べた方もいるとかいいます。



皆様お腹いっぱい。大満足の昼食でした。

(松江睦子)

弥富市南 デイサービスセンター

『野焼きDEパン』

12月4日(水)の午後、野焼きでパンとじゃがバターを作りました。

最初に、じゃがいもを蒸した後アルミホイルに包み、そのまま灰の中で温めました。



パンは竹にアルミホイルを巻き、その上にパン生地を巻きつけました。灰の上で竹を回しながら利用者さんそれぞれが上手く焼き上げることができました。

おやつの時間になり、パンとじゃがバターを食べながら、「自分で焼いたから美味しいわ」と、笑顔で言われていました。

これからも利用者さんに喜ばれるレクリエーションを考えていきますので、よろしくをお願いします。

(原 悠介)



ボウリング 大会の結果

第21回愛知県老人福祉施設職員ボウリング大会が、11月30日(土)知立イーグルボウルにて開催され、前回大会より4チーム少ない18チーム参加で、我が法人からは2チーム(1チーム3人)参加しました。開始前、この原稿を書くのを優勝したら私、それ以外の結果なら大石課長という勝負をしました。

第1ゲームが始まると、課長は調子がよく193点のスコアを出しました。その勢いにつられるように2人もスコアをのばしトータル498点でした。

第2ゲームは、課長がマークをつけるも2人もマーク、オープンフレームになると2人もオープンフレームになるとという課長次第のゲームになりトータル428点、総得点926点という結果でした。結果発表前は、「5位以内には入れるね」と話していたら見事「優勝」という結果でした。

もう一チームは、トータル830点で惜しくも4位でした。個人賞では、吉川介護福祉士が156点で女性ハイゲーム賞を受

賞しました。また来年も、連覇目指し頑張ります。ありがとうございました。(水谷和宏)



▲チームWAGUMA I & WAGUMA II
▲優勝したWAGUMA II



▲女性ハイゲーム賞の吉川介護福祉士

亡くなられた方々

- ・太田信一さん 九十一歳
令和元年十一月一日
- ・河村英美子さん 八十三歳
令和元年十一月十一日
- ・佐野トシエさん 九十二歳
令和元年十一月二十三日
- ・渡邊美奈子さん 七十六歳
令和元年十一月二十三日

皆さんのご冥福をお祈りいたします。



ご寄付ありがとうございました

10月1日～11月30日

- ・中山自治会様
- ・木下たづ様
- ・中部善意銀行様
- ・小紅会様
- ・下村ます子様

編集後記

明けましておめでとうございます。

この機関紙は、1995年(平成7年)3月25日に第1号が発刊され、この度第100号を迎えることができました。

思い起こせば、機関紙の表題を募集し25の候補の中から「輪中の郷 おたっしや通信」に決まり、当時の弥富町長に揮毫をお願いし、住民の方々の良き情報源となるようスタートしました。

そのような事を知る職員も少なくなりましたが、この先10年・20年、150号・200号と続くよう、次世代に紡いでいきたいと思えます。

さて、今年は今和2年「子」年です。子は十二支の中の最初で、「亥」が終わり一巡する年になります。

ネズミは小さいながらも繁殖力があり、活発に活動する動物です。そんな子年に関する「へえ

」と思うような知識を紹介したいと思えます。

1. ネズミ年生まれの人は一生涯食べ物に困らない

これは、どんな環境でも食べられるものは何でも食べて、生き抜いていく力があるということです。

2. ネズミ年生まれの人には色々な所を片付ける(探る)

部屋の隅々までみて、いらぬものを捨てたり、整理整頓したり、細々としたことをするのが好きだということ。

3. ネズミ年には子宝に恵まれる
ねずみ算という言葉があるように、ネズミは子たくさん。「子供がたくさん欲しい」という願いを込めての言い伝えです。

実際私もたくさんのお年寄りの方々とお話をした中で、「あなた何年?」と質問されることがあり、「ネズミ年です」と答えると、「だからよく動くんだね」と教えてくださる方もみえました。

「繁栄」の年になるといわれる子年。東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年、日本全体がいい雰囲気になれ、喜びや楽しみに包まれる年になつて欲しいと思います。

そして、住人さんやご利用者及び当法人に携わっていただいている皆様が、この一年素晴らしい年でありませう、心からお祈り申し上げます。本年もよろしくお祈り致します。(大石章人)